

日本名作映画上映会（英語字幕付）の開催報告

令和元年8月31日
京都学・歴彩館
075-723-4835

京都学・歴彩館では、この度、国際交流基金京都支部と共催で、日本文化を紹介する日本名作映画上映会（映画字幕付）を開催しましたので、報告いたします。

記

■ 日 時 令和元年8月21日（水）14:00～16:15

■ 会 場 京都府立京都学・歴彩館1階 大ホール

■ 参加者数 473名

■ 内 容

上映作品『舟を編む』（英語字幕付）

監督：石井裕也

原作：三浦しをん

出演：松田龍平、宮崎あおい、オダギリジョー 他

2013年作品 松竹 35mm 133分 カラー



©2013「舟を編む」製作委員会

■ 主 催 京都府立京都学・歴彩館、国際交流基金京都支部

■ 上映会の様子

今回の上映会は、主催者見込を大きく上回る多数の来場者があって大盛況裡に終了した。満席のため残念ながらホール内に入場いただけなかった方々から、再度の上映会を希望する声などを多数いただいた（過去例のない多数の当日参加希望者があり、やむを得ず入場制限させていただくこととなりました。折角楽しみにご来館いただいたのに、ご覧いただけなかった皆様には申し訳ありませんでした。）。

アンケートの結果によると、府内外在住の日本人のほか、中国、台湾、イギリス、フランス、ベトナムなど、多様な国・地域の方に参加いただいております。英語字幕付だから参加したという声も多かった。英語字幕付上映は当館の利用者層の拡大につながるとともに、外国人の方々にも日本文化・京都文化を理解いただく良い機会となった。

■ 参加者コメント（抜粋）

- ・「大満足の感動する映画でした。」
- ・「大変良かったです。また次の機会を楽しみにしています。」
- ・「辞書はどうやって作られるのか全く知らなかったので、勉強になりました。」
- ・「辞書一冊作るのは、大変なことがよく分かった。」
- ・「映画の中の人間関係も勉強になるし、とてもいい映画を見せてもらってとても喜んでます。」
- ・「言葉への拘り、言葉の成り立ち、時代による変遷など、改めていろいろと考えさせられた。」
- ・「辞書という地味な書籍の製作にあたっての使命感と努力、長い年月の働きに感動を覚えます。」
- ・「辞書づくりの裏側がみられて興味深かったです。人間ドラマとしても見応えがありました。」
- ・「言葉の大切さをとても考えさせられました。」

■ 上映会関連コーナー

辞書づくりをテーマとするこの映画上映に併せて、新村出記念財団重山文庫のご協力により、『広辞苑』の編集・改訂にまつわる貴重な現物資料を紹介した“上映記念特別展示コーナー”を京都学・歴彩館1階の京都学ラウンジに開設。辞書編集者の仕事への情熱を来館者に感じていただき、辞書づくりについての理解を深めていただいた(開設期間:8月1日から8月31日)。

また、同期間中、2階の京都資料総合閲覧室では、『舟を編む』関連資料紹介クイズラリーを実施した。

なお、上映会当日は展示コーナーを大ホール前に設置し、上映前後にご覧いただいて上映会の開催を盛り上げた。展示コーナーは開設期間中、延べ 1,752 名にご覧いただき、クイズラリーには 32 名の方にご参加いただいた。

■ 記録写真

●上映会場の様子



●展示コーナー（京都学ラウンジ）



●展示コーナー（京都学ラウンジ）



●展示コーナー（大ホール前）



●2階・関連資料紹介クイズラリー



●広報ポスター掲示風景

